

たのしくく パクりんご

2021年
11月1日(月)
第16号
(食プロジェクト)

前回は、番外編特別号を発行させていただき、「検食」について食事支援科の想いも込めて発信させていただきました。食事の「作りて(厨房)」と「届けて(介護)」が点では無く線になることで質がさらに変化していく可能性を感じました。

広報誌では、郷土料理シリーズの紹介が続きましたが、9月以降も色々な郷土料理がご利用者の胃袋に届いております。まだまだ沢山ご紹介したい郷土料理がございますが、今回は、各事業所で9月に行われた敬老会の行事食をご紹介いたします。障害者支援施設みずきでは、10月の

【体育の日】にも行事食を提供したそうです。写真からも、校庭や万国旗の下で食べたいという情景が浮かびます。



【デイサービスセンターさくら】
通所日の兼ね合いもあり毎年複数回に分けて行事が続き曜日によりメニューが変わります。海鮮ちらし盛り付けショーもあったそうです。



【特別養護老人ホームさくら】
人気の高い、安定の行事食です。お祝いは、刺身と天麩羅が気分を盛り上げます♪



【リブインさくら】
秋の味覚で彩られた御膳です。手作りスイーツのババロアも提供されました。



【障害者支援施設みずき】
盛り付けが特別な日を演出しています。彩り・盛り付けでいかに印象が変わるかの大切さが伝わります。盛り付け風景の写真もいただきました。



編集後記: 菅野 健司(特別養護老人ホームさくら/食事支援科/調理師)

急に秋が深まり冬がすぐそこに迫っておりますが、皆様お身体を大事にお過ごしでしょうか。私達、食事支援科はご利用者の心と身体を食を通して温められると考えています。その為に、食事支援に関わる全職員のお力添えが必要です。引き続きご協力をお願いします。